

総合戦略推進委員会で議論したKPI候補

令和6年8月5日（月）
令和6年度第1回日進市総合戦略推進委員会 資料3

基本目標		1.子どもや女性が活躍するまちを創る		2.だれもが健康で長生きできるまち・地域共生社会を創る	3.雇用を支え、にぎわい・活力が生み出されるまちを創る
施策	1-1.次代を担う子どもたちの学習環境の充実	1-2.女性が活躍できるトータル支援	2-1.健康づくりと生きがいづくりの支援	3-1.市内農・商工業の活性化と多様な連携の推進	
追加候補のKPI	子ども向け生涯学習事業参加人数	保育園及び放課後児童クラブの待機児童数（人）	栄養バトロール実施件数	学校給食における日進市産食材の使用量の割合	
候補とした理由	学校で過ごす多くの時間は様々な科目を学習する時間である。この時間を楽しく過ごすことができれば数値目標の改善に繋がる。しかし、学校の授業で学習する内容はどんなことに役立ち、応用できるのかまで想像することが難しく、内容の理解や宿題が負担と感じ楽しさを見いだせていない。 子ども向けに行ってる生涯学習講座で楽しく学ぶこと、学習の意味や意義を見つけることができれば、学校の授業に積極的に参加するようになり、学校へ楽しく通える児童生徒が増加すると考える。	働く意欲はあるが、子どもを預ける場所がないという問題を解決するべくKPIに設定する。子育てを理由に仕事を断念することがないように、待機児童数ゼロを目標とし、子育てをしながら働ける環境を整え、女性の社会進出向上を図る。	介護予防、フレイル（加齢により体や心のはたらきや、社会的なつながりが弱くなった状態）対策の一環として、病院に掛かっていない健康不明な後期高齢者の自宅に管理栄養士が訪問し、生活基盤となる「食」について、リスクがある者への専門的支援を行い、フレイル予防・QOL（生活の質）の向上を図る。また、今まで実態把握ができていなかった健康不明な後期高齢者宅に訪問することで、普段の生活状況を行政が把握し、地域包括支援センターや医療機関等と連携し、適切なサポートを提案することができる。	・地産地消の促進。 ・課外授業として、「自分たちの給食を土から作ろう」などをテーマとして、児童生徒に野菜の育て方を教えるきっかけづくりとする。 ・第3次食育推進計画の指標に設定されている。	

基本目標		4.安全・安心な暮らしが続けられ、住むなら日進といわれるまちを創る	
施策	4-1.安全・安心な暮らしと便利な地域交通網の実現	4-2.まちの魅力向上と多様な情報発信	
追加候補のKPI	①幹線軸の公共交通利用者数 ②くるりんばすのバス停あたりの人口カバー率	市民一人当たりの都市公園面積	
候補とした理由	①本市の通勤・通学流動は主に名古屋市や豊田市との結びつきが強く、これを保持することは本市の都市機能上、非常に重要である。市内外の拠点へアクセスし、都市としての発展を支える交通を確保・維持することが望ましいと考える。幹線軸の公共交通利用者数をKPIとすることで、通勤・通学に係る地域公共交通環境の向上を測ることができる。 ②できる限り多くの方が公共交通を気軽に利用できる環境にすることが必要である。公共交通の中でも本市が運営するくるりんばすについては、家から近い場所にバス停があることが望ましいと考える。バス停あたりの人口数をKPIとすることで、気軽に自宅からくるりんばすに乗車できる環境を把握することができる。	身近な地域に公園が整備されることで、憩いや交流の場となり、快適な居住環境の向上につながる。また、有事の際には緊急避難場所となるため、防災拠点の役割を持つことや人が集まることで防犯効果も高まるため、基本目標4及び数値目標に資すると考える。なお、都市公園法施行令では住民一人当たりの都市公園面積の標準は10㎡/人とされているが、本市では現況5.3㎡/人であるため、本市が定める「緑の基本計画」では概ね7㎡/人を目標としている。(愛知県平均では7.8㎡/人)。	